

学習会「デジタル社会における国際消費者情報」

4年に一度の国際消費者機構（Consumers International）の世界大会が4月29日～5月2日にポルトガルで開催されました。また、今回はこの大会の後、5月にスイスにて、初めてWTOと消費者団体の対話の実現しました。

両企画に参加した消費者団体メンバーからの報告を行うほか、CIが実施した「人工知能：最新技術の消費者経験」調査について、結果報告を行います。



【日時】：2019年6月12日(水) 10:30～12:00

【会場】：主婦会館プラザエフ5階会議室（JR四ツ谷麴町口）

【内容（予定）】

（1）CI消費者大会 in ポルトガルについて（全国消費者団体連絡会 浦郷由季）

▼4年に一度のConsumers Internationalの世界大会が4月29日～5月2日にポルトガルで開催されました。

▼現地での様子や、世界の消費者団体との交流、議論について最新情報をご報告します。

（2）CI調査結果報告（親子消費者教育サポートセンター 加藤絵美）

▼CIが実施した「人工知能：最新技術の消費者経験」調査について、結果報告をします。

▼日本の消費者のAIに対する意識が他国に比べて低いことがわかりました。

（3）WTO電子商取引会合報告（全国消費生活相談員協会 黒田千鶴子）

▼5月にスイスにて、初めてWTOと消費者団体の対話の実現しましたので、その内容と結果をご報告します。

▼WTOにおける越境電子商取引に関わる国際ルール作りについて議論がされました。

（4）消費者サミット in 徳島

▼今年9月に徳島で開催される「消費者政策国際会合」について、上記の会合でも話題になっています。全国消団連でも消費者担当大臣宛てに「『消費者政策国際会合』への消費者参加を求める意見」を提出しました。この内容をご紹介します。